えっ? 育む 見守る ふれあうナカマ

緑の資源 次世代へつなぐ

仙台・秋保 林業の現場紹介

1面「みんな子どもだった?」に登場した阿部政俊さん(33)は現在、林業の仕事をしています。山の中でどんなことをやっているのかな。仙台市太白区秋保町での作業の様子を、写真で紹介します。

林業は山から木を切り出し、木材に加工して販売する仕事です。木を切りっぱなしでは山の緑が失われてしまうので、苗木を植えて森を育てることも大切になります。

苗木を植えた後に何もしないと、木同士で栄養の取り合いになって十分に成長できません。タイミングを見計らって一部の木を切る「間伐」をすることで、立派な木が育つようにします。間伐で切った木は加工し、木材として無駄なく使います。

間伐によって森林に日光が届くようになり、木や下草がしっかり根を張ります。こうして成長した樹木や下草が雨をため込んでくれます。最近は短い時間で一気に大雨が降ることが増えました。防災の点でも山林の手入れが重要になっているのです。

植林から、木が立派に成長して出荷できるようになるまで50年近く。阿部さんは「緑の資源を次の世代にバトンタッチする大事な仕事。やりがいがあります」と話します。

❶ 安全のため作業は必ず2人以上で行う。どこを狙って倒すかも技のうち。

❷ 倒したい方向を決め、チェーンソーで根元に「受け口」と呼ぶ切り込みを入れる。

❸ 「受け口」の反対側に切り込みを入れ、くさびを打ち込む。

❹ バキバキという音を立てながらスギの木が倒れた。見事伐採に成功。

❺ 間伐で倒した木は短く切りそろえ丸太に。林道の横に積み、運び出すまで保管。